

特集

平成30年度

磐田市の予算と事業

予算とは、1年間の収入と支出をあらかじめ見積もることです。4月から始まる新年度を前に市議会で議決し決められています。年度内で行われる事業は、この予算に沿って執行されていきます。これから磐田市が何を目指し、どのようなことを行っていくのか、今年度予算を主な事業とともに紹介します。



平成30年度の市の予算総額

1,243億4,720万円 (前年度比1.7%減)

うち一般会計



632億1,000万円 (前年度比0.9%増)

担当

FAX 0538-374876
TEL 0538-374883
財政課

市の予算は大きく分けると3つの会計に分かれています。今年度の予算は次のとおりです。

一般会計

福祉や教育、道路整備など特に生活に関係の深い基本的な事業の会計。

632億1000万円

前年度比0.9%増

特別会計

国民健康保険税や下水道使用料など、特定の収入で運営する事業で、収支を明確にするため、一般会計と分けている会計。市には10の特別会計があります。

372億3235万円

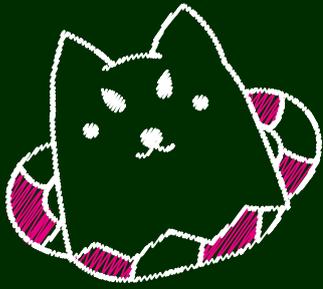
前年度比8.2%減

企業会計

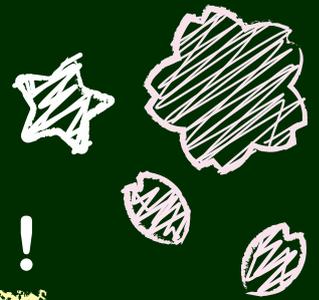
利用料金などの収益で運営している会計。市には水道事業会計と病院事業会計の2つがあります。

239億485万円

前年度比2.4%増



基本目標



より暮らしやすい磐田市へ！

市民第一で、さらに挑戦する磐田

3つの重点目標

未来を担う子どもたちのために

子どもたちが夢や希望を持ち、たくましく育つ環境づくりを推進します。



地域や市民のために

まちづくりは人づくり、地域づくりの考えのもと、生活に密着した取り組みを推進します。



本市のさらなる発展のために

これからの10年、さらにその先を見据えた成長戦略を推進します。



一般会計は、海岸堤防やながふじ学府小中一体校、JR新駅や新東名磐田スマートインターチェンジなど、大規模事業の推進による事業費や(仮称)中泉こども園の整備などの建設事業費が増えたほか、障害者福祉サービスや小規模保育などにおける費用が増えたことで、昨年度に比べ5億9千万円、0・9%の増額となりました。この予算額は昨年度に引き続き合併後最大の予算規模になっています。

まちづくりは人づくり、 地域づくり

磐田市では、まちづくりは「人づくり」「地域づくり」であることを基本に、地域の思いや市民生活を第一に考えています。また、市民の生活に密着した取り組みを進めることで、福祉や医療、子育て、教育などがバランスよく発展した「総合力ナンバーワンのもち」を目指しています。

平成30年度磐田市当初予算は、「未来を担う子どもたちのために」、「地域や市民のために」、「本市のさらなる発展のために」という3つの重点目標を設定し、この目標の達成に向け予算編成を行いました。

今年度実施される主な事業を次ページで紹介します。



活力ある地域づくりの推進



- 10 交流センター体育館照明のLED化 4,739万円
省電力化の推進や避難所としての環境整備などを図るため、交流センター体育館の照明をLED化します。
- 11 学校体育館照明のLED化 1億503万円
省電力化の推進や避難所としての環境整備などを図るため、小中学校体育館の照明を2カ年でLED化します。
- 12 (仮称)磐田市文化会館の整備推進 2億210万円
(仮称)磐田市文化会館の整備に向け、実施設計などを行います。



支え合いの推進と福祉の充実

- 13 認知症初期集中支援チームの設置 180万円
医療と介護の専門職によるチームが認知症家族宅を訪問し、初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のためのサポートを行います。
- 14 生活困窮者・障がい者の就労支援の強化 1,600万円
就労支援員と就労準備支援員を増員し、生活困窮者、障がい者の就労支援体制の強化・充実を図ります。
- 15 市民後見人の育成 78万円
成年後見人の担い手不足を解消し、地域で支える体制づくりを進めるため、市民後見人を養成するための研修などを行います。
- 16 在宅介護手当の拡充 1,537万円
在宅介護手当に認知症の日常生活自立度に応じた加算を行います。



市民後見人の育成



産業の育成と都市基盤の整備

- 17 Uターン就職者への奨学金返済補助制度の開始 617万円
大学進学のために県外に転出した若者のUターン就職を促進するため、奨学金返済の一部を補助する制度を開始します。
- 18 JR新駅の設置推進 14億678万円
平成31年度末の開業に向け、駅舎・自由通路の建設工事、ホーム構築工事などを実施します。
- 19 新東名磐田スマートICの設置推進 5億5,276万円
平成32年9月の供用開始に向け、高速道路との連結工事に着手します。



JR新駅建設予定地
(平成30年2月22日撮影)

※各会計予算は、市役所本庁舎および各支所の市政情報コーナー、各市立図書館で閲覧することができます。また、市ホームページにも掲載しています。

市HP

平成30年度当初予算

検索

知れば磐田がわかる！！

平成30年度版

磐田のイチオシ 19 のコト



子育て支援・教育の充実

- 1 中学校入学時の制服等購入支援 5,195 万円**
制服などの購入に係る費用の一部を商品券で支給するとともに、制服を次代に引き継ぐリサイクルの仕組みを構築します。
- 2 ひと・ほんの庭にこっとの開館 7,198 万円**
今年8月開館を目指し、旧豊田図書館の改修・整備を進めます。
- 3 (仮称) 中泉こども園の建設 5 億 4,840 万円**
来年4月開園に向け、園舎建設を行います。
- 4 小規模保育所の施設整備への補助 9,735 万円**
新設に係る施設整備費を補助します。
- 5 豊田中学校区 (ながふじ学府) における小中一体校の整備推進 1 億 1,687 万円**
平成33年4月開校予定の小中一体校の整備に向け実施設計を行います。



ひと・ほんの庭
にこっと完成イメージ



(仮称) 中泉こども園
完成イメージ



市民の安全・安心の確保

- 6 合葬墓の整備 1 億 2,157 万円**
多様化する墓地需要に対応するため、合葬墓の建設を含む駒場霊園の整備を行います。
- 7 海岸堤防の整備推進 5 億 8,440 万円**
第4次地震被害想定レベル2の津波に対応する海岸堤防の整備を引き続き推進します。
- 8 感震ブレーカーへの補助制度の創設 1,004 万円**
大規模地震発生時の電気火災による被害拡大を防ぐ効果のある機器の普及を図るため、補助制度を創設します。
- 9 迷惑電話防止装置への補助制度の創設 100 万円**
悪質電話対策を行う専用機器などの購入に対する補助制度を創設します。



合葬墓完成イメージ